

アントロポゾフィー(シュタイナーの人間観)に基づく

音楽療法入門講座 (全6回)

現代社会が抱える様々な問題の中で浮かび上がってくるのは、発達障害を抱える子どもたちや、高齢化社会における認知症を患う人達です。また、複雑化する社会機構に触まれる精神的な苦悩を抱える人々の存在もあります。

私たちはこのような人々をどのように理解し、支援していけるのでしょうか？

このような問題の解決の糸口として、アントロポゾフィーにおける医学的観点と共に音楽療法の可能性を探ってみたいと思います。

音楽療法に関心をお持ちの方、多数のご参加をお待ちしています。

日程：2018年

5月19日(土)・5月20日(日) 10:00~17:00

6月23日(土)・6月24日(日) 10:00~17:00

7月7日(土)・7月8日(日) 10:00~17:00

- 【講義】 ○アントロポゾフィーの観点からの人間理解
○音楽療法士になるための心構え
○音楽療法はどのような場合に適用できるか
○アントロポゾフィーによる音楽療法とは何か

- 【実習】 ◎療法楽器の現象研究
◎響きの作用
◎動き・知覚体験
◎インターパルの持つ力 など

その他、療法の実際についてもご紹介する予定です。

会場：オーディオパーデ つきみ野セラピーハウス 第二 (裏面案内をご覧ください)

定員：15名 (最小遂行人数：10名)

対象：音楽療法に関心をお持ちの18歳以上の成人

参加費(通し)：70,000円(締め切り4月30日) / 早期割引：60,000円(締め切り4月12日)

参加費(各月)：2日間で25000円(締め切り4月30日) / 早期割引：22000円(締め切り4月12日)

※各月でお申込みの方も、締め切りは4月30日になりますのでご注意ください。

※6月3日に行われる音楽療法研究会講座にも参加されることをお勧めします。(場所：大倉山記念館)

この講座への参加費は、料金には含まれていません。

<講師紹介>

竹田喜代子

シュタイナーの音楽教育家・音楽療法士。40年に亘り子どもの音楽教育に携わる。元東京シュタイナーシューレ音楽専科教師(12年間)。1989年より、主に自閉症児の音楽療法を実践。2001年より、ヴィッテン教員養成所講師ラインヒルド・プラス氏と共に、日本人のための療法的音楽教育者養成を行う。その他、各地にて講演活動を行う。現在、日本初のアントロポゾフィーによる音楽療法士の養成を行っている。一般社団法人オーディオペーデ理事長。

鈴木麻

(株)ヴァンタンデザイン研究所にてアシスタントディレクターを務めた後、渡英。エマーソンカレッジにてシュタイナー教員養成コースを修了。2005年に帰国後、京田辺シュタイナー学校(京都府)にて8年間のクラス担任、並びに小・中・高校生の音楽を担当。2015年には、関東のシュタイナー学校にて音楽を教える。現在は、大人むけの講座、教員養成講座などの講師、アントロポゾフィーを基礎とした音楽療法士として活動中。

小林國力

信州大学医学部卒。大学卒業後約20年間消化器外科医として主に消化器癌の治療に携わる。2005～2006年にドイツのアントロポゾフィー医師ゼミナール(現オイゲン・コリスコアカデミー)でアントロポゾフィー医学を学ぶ。2008年神奈川県相模原市の藤野地区で開業。その後、現在まで地域で主に高齢者の医療に取り組む。佐野川クリニック院長。

<申し込み>

一般社団法人オーディオペーデ 音楽療法入門講座係

(FAX:046-240-9117/メール: audio-pd@nifty.com) まで、住所・氏名・年齢・職業を明記の上、メールまたはFAXでお申し込みください。講座費用の振込をもって受講受付となります。

(当日は振込票をお持ちください。)

<お支払方法>

下記郵便振替口座にて講座費用をお振込みください。

ゆうちょからの振込: 一般社団法人オーディオペーデ 記号:00220-2 番号:101127

他銀行からの振込: ゆうちょ銀行 店番:0二九(ゼロニイキュウ) 当座預金 口座番号:0101127

口座名義:一般社団法人オーディオペーデ

<会場案内>

セラピーハウスつきみ野 第二 (東急田園都市線 つきみ野駅 徒歩約10分)

神奈川県大和市つきみ野 3-30-5

<問い合わせ先>

一般社団法人オーディオペーデ事務局

FAX:046-240-9118 /メール: audio-pd@nifty.com

HP: <http://audio-pade.com/>

主催: 一般社団法人 オーディオペーデ

協力: シュタイナー音楽療法研究会

